● 福島民報　　2011 年 12 月 16 日

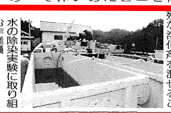
福島大波の防火水槽で除染実験

県選定民間技術試験

県建設業協会と有害汚染土壌処理剤の開発・販売を手掛けるクマケン工業（本社・秋田県横手市）は十五日、福島市大波地区の防火用水槽の水の除染実験を行った。

県が選定した民間の除染技術の実地試験の一つ。放射性物質で汚染された水や土壌に特殊な浄化剤を混ぜることで、汚染物質を圧縮して取り除くことができるという。

水槽の水約六十トンをタンクに移し、水と放射性物質を分離した。放射性物質は地区内の仮置き場に保管する。水と圧縮した物質の一部は県の担当者が持ち帰って放射性物質濃度を測定し、結果を来年一月に公表する。県の担当者は「結果を見て、プールの除染への活用も考えたい」と話した。



水の除染実験に取り組む作業員